

出羽三山のウォーキングツアー

月山ビジターセンターでは、1年を通して、およそ40のウォーキングツアーが用意されています。ツアーには、夏の夜の蛍ツアーや、出羽三山の羽黒山(414 m)、月山(1,984 m)、湯殿山(1,500 m)の動植物を紹介する教育ツアーなどがあります。

周囲の森や湿地で行われる植物ガイドツアーでは、季節の植物を紹介しています。春には、カタクリ(*Erythronium japonicum*)、ショウジョウバカマ(*Heloniopsis orientalis*)、大きな花のコシノカンアオイ(*Asarum megacalyx*)、ニリンソウ(*Anemone flaccida*)、ガマズミ(*Viburnum dilatatum*)といった植物を目にすることができます。

また出羽三山の植物が6世紀後半以降、修験道の行者にどのように利用されてきたのかを学ぶことができます。修験道は、厳しい肉体修行を伴う山岳修験の古来からの伝統です。歴史を見ると、修験道の信者たちは出羽三山で修行し、自給自足で暮らし、この山で育った植物のみを食料と薬にしていました。彼らは、これらの植物を使うことで山の力を利用できると信じていました。

自然保護のためのウォーキングでは、より実践的な体験ができます。リードする専門のガイドは、山に生息する外来種を訪問者が見分けるのを手助けしてくれます。外来種は地域の在来種にとって脅威であり、生態系の繊細なバランスを崩してしまう可能性があります。

ここでは、出羽三山の植物を保護するため、様々な対策が導入されています。弥陀ヶ原湿原の入口におかれているマットで、外来種の持ち込みを防ぎます。訪れた際は、このマットで靴を拭き、靴の裏に付着しているかもしれない一切の種子を取り除きます。また、この地域の植物を摘む・持ち帰るなどの行為や、外来種を意図的に持ち込むことは禁止されています。

植物ツアーに関する詳細については、月山ビジターセンターまでお問い合わせください。弥陀ヶ原湿原のツアーについては、羽黒町観光協会にお問い合わせください。